

# JFFID 2024 日本代表候補強化合宿 [11月開催]

報告者：日本代表監督 西 真一

## 1 日時・場所

期間：2024年11月29日（金）～12月1日（日）

場所：さくらスタジアムほか（栃木県さくら市）

## 2 強化合宿の目的

・スタッフ及び選手：アルゼンチン遠征に向けてのチーム強化

## 3 スケジュール

期日	午前	午後	夜
11月29日（金）	集合	フィジカルチェック トレーニング	ミーティング
11月30日（土）	トレーニングマッチ	トレーニング	ミーティング
12月1日（日）	トレーニングマッチ	解散	

## 4 スタッフ・選手

スタッフ：6名

選手：代表候補17名+トレーニングパートナー1名（途中1名怪我により離脱）

## 5 トレーニング・ミーティング及びゲーム

【40m走】

【クランク走】

【YO-YO】間欠性回復力 level 1

【攻撃】

・パス&コントロール&サポート、4vs4+3F、シュート、ゲーム

【チーム戦術】

・3vs3+GK、3vs3+1T、ストップゲーム

【GK】

・基本技術の確認（基本姿勢・構えるタイミング・ポジショニング 等）

・ゲームにおける適応能力の確認（ビルドアップ・声・ポジショニング 等）

- ・ゲームからの課題の抽出

#### 【ミーティング】

- ・日本代表アイデンティティ
- ・フィジカルテスト振り返り、レクチャー
- ・TRM 振り返り
- ・アルゼンチン遠征に向けて（オフザピッチ版）

#### 【トレーニングマッチ】

11/30（土）vs さくら清修高校 △2-2

1セット JFFID 日本代表 0-1 さくら清修高校（35分）

2セット JFFID 日本代表 0-0 さくら清修高校（35分）

3セット JFFID 日本代表 2-1 さくら清修高校（35分）

（J）得点者：大久保 2

12/ 1（日）vs 矢板中央高校 ●2-3

前半 JFFID 日本代表 0-1 矢板中央高校（45分）

後半 JFFID 日本代表 2-2 矢板中央高校（45分）

（J）得点者：下鶴、武田

※30分ゲーム JFFID 日本代表 0-2 矢板中央高校（30分）

## 8 総括

---

12月14日からのアルゼンチン遠征に向けた直前の国内合宿を行いました。アルゼンチン代表との対戦は昨年12月のアルゼンチン遠征以来となります。前回は2試合を行いました但し得点を奪えずに敗戦。前回対戦の分析を行い、今回どのようにしてアルゼンチン代表に挑むか、を選手と共有しました。そして、2泊3日という短い期間で2試合行いました。

初日、ボールを使ったトレーニング時に GK 徳村選手が左肩を負傷し、トレーニング続行不可となり、チームから離脱しました。フィジカルトレーニング時には全員のコンディションは良いと感じていたために、徳村選手の離脱は残念なものとなりました。

前回試合のアルゼンチン代表の分析から、システムを変更し、選手個々の能力をシンプルに発揮できるものにしました。そのなかで、選手はシステム変更への対応力を示し、能力の高さをみせてくれました。試合の結果・内容については別途のマッチレポートをご覧くださいと思いますが、全体として良い内容であったと感じています。

【成果】攻撃は、テクニックとセンスを持ち合わせた選手同士の良い距離感での関係性による中央突破や、サイド選手のスピードを活かした関わりによるニアゾーンへの進入など、意図した攻撃が多くみられました。守備は、ゾーンごとに変わる守備の優先順位の理解と、ボールを奪う際の相手とのコンタクトでは、結城選手をはじめとして簡単には負けない強さがありました。

【課題】 攻撃は、ラストパス（プレー）の質、タイミングです。守備は、ゴール前の守備の際のボールに寄せることと、サイドからのクロスに対するボールと人の同一視（マークをとる）です。この課題をアルゼンチン代表との試合で克服できると、勝利に近づけると考えています。

ミーティングにおいては、ポジション別に映像を使い、グループや個別にレクチャーを行いました。また、アルゼンチン遠征に向けての準備と心構えの共有を行いました。

最後になりますが、近年の代表活動は国内合宿を年2～3回程度、海外遠征を年1回実施できるようになりました。選手のプレーレベルは上がり、選手が入れ替わってもゲームレベルは変わりません。JFFID内はもとより、地域・都道府県でいつも選手に向き合ってくださいる指導者や支えてくださる皆様の日々のご尽力の賜物であります。心から感謝を申し上げます。また、合宿地であるさくら市教育長様より選手への激励と特産品の贈呈、JFFID技術委員の運営サポートなど多くの支援をいただきまして、関わる全ての皆様に心から御礼を申し上げます。実りあるアルゼンチン遠征となるよう良い準備をしまいたします。引き続き、選手へのご声援のほどよろしく申し上げます。







# JAPAN SPORT

COUNCIL

日本スポーツ振興センター

競技力向上事業